

中学校

平成 17 年 度

教育研究員研究報告書

外 国 語

東京都教職員研修センター

目次

I 研究の背景とねらい

1 研究の背景	2
2 研究のねらい	2
3 研究の方法	3

II 研究の構想

3

III 第1分科会の研究

1 副主題設定の理由と研究のねらい	4
2 研究の仮説	4
3 研究の内容	4
4 実践事例	6
5 研究の成果と課題	13

IV 第2分科会の研究

1 副主題設定の理由と研究のねらい	14
2 研究の仮説	14
3 研究の内容	15
4 実践事例	16
5 研究の成果と課題	23

V 本研究の成果と今後の課題

24

実践的コミュニケーション能力の基礎を養う個に応じた指導の工夫**I 研究の背景とねらい****1 研究の背景**

インターネット等メディアの急速な発展に伴い、経済・社会のグローバル化が一層進んでいる。国際共通語と言われる英語をコミュニケーションの手段として主体的に受信・発信することができる能力を育成することは、喫緊の課題である。

このような状況を踏まえ、平成15年3月、文部科学省から「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」が発表された。その中では、「中学校・高等学校を卒業したら英語でコミュニケーションができる」ことが目標として示されている。音声によるコミュニケーション能力を重視しながらも、「聞く」「話す」「読む」「書く」の総合的なコミュニケーション能力を身に付けることが強く求められている。

しかし、学校においては、英語を使って積極的に発話をしたり、英語で書かれた文章を読んで理解したりすることに対して、抵抗感や負担感をもっている生徒が少なからずいる。学年が上がると、学習内容が複雑になるにしたがってその傾向は強くなり、英語に自信を失い、やがて声は小さくなり、また、英語の文が並んでいるのを見るだけで、読もうという気持ちをなくしてしまうなどの実態も見られる。

このような実態があり、また、学力低下が懸念されている今、生徒一人一人の学習状況やつまづきの原因を把握し、適切な学習指導を行うことを通して、生徒が積極的にコミュニケーションを図ろうとする能力や態度を養うことが重要である。

2 研究のねらい

本研究では、「実践的コミュニケーション能力」を、相手の伝達したい意向などを的確に理解できる能力（受信能力）と場面に応じて適切な表現を使って自分の意思を相手に伝える能力（発信能力）をとらえた。受信したことを理解し、発信していく能力の育成を重視する観点から、「読むこと」と「話すこと」に焦点を当てた。「読むこと」と「話すこと」の言語活動を有機的に関連付けて指導することにより、生徒は受信から発信へと実践的コミュニケーション能力を身に付けることができると考えた。その際、個に応じた指導の一層の充実を図る視点から、個々の生徒の実態に合わせてそれぞれの能力を伸ばすために、授業の改善と充実を図るための具体的な手だてについて考察することを研究のねらいとした。

なお、本研究は、二つの分科会に分かれて実践・研究を進めた。第1分科会は、「読むことの力を伸ばすための個に応じた指導の充実」、第2分科会は、「豊かな表現力を伸ばすための個に応じた指導の充実」を副主題に掲げて研究した。受信から発信への高まりを考えた分科会構成であるが、各分科会の指導の工夫をすべての教育研究員が共通に実践するなどの工夫により、一つの研究にまとめ上げた。

3 研究の方法

(1) 基礎研究

学習指導要領に示された目標や内容を分析し、先行研究を参考にしながら、各学校で行われている授業内容等を整理・分析し、今後の授業改善に役立てるために、研究の方向性を探った。

(2) 調査研究

教育研究員の所属校において、英語学習に関する質問紙法による意識調査を行い、特に「読むこと」、「話すこと」に対する関心や学習上困難に感じている点等を把握した。

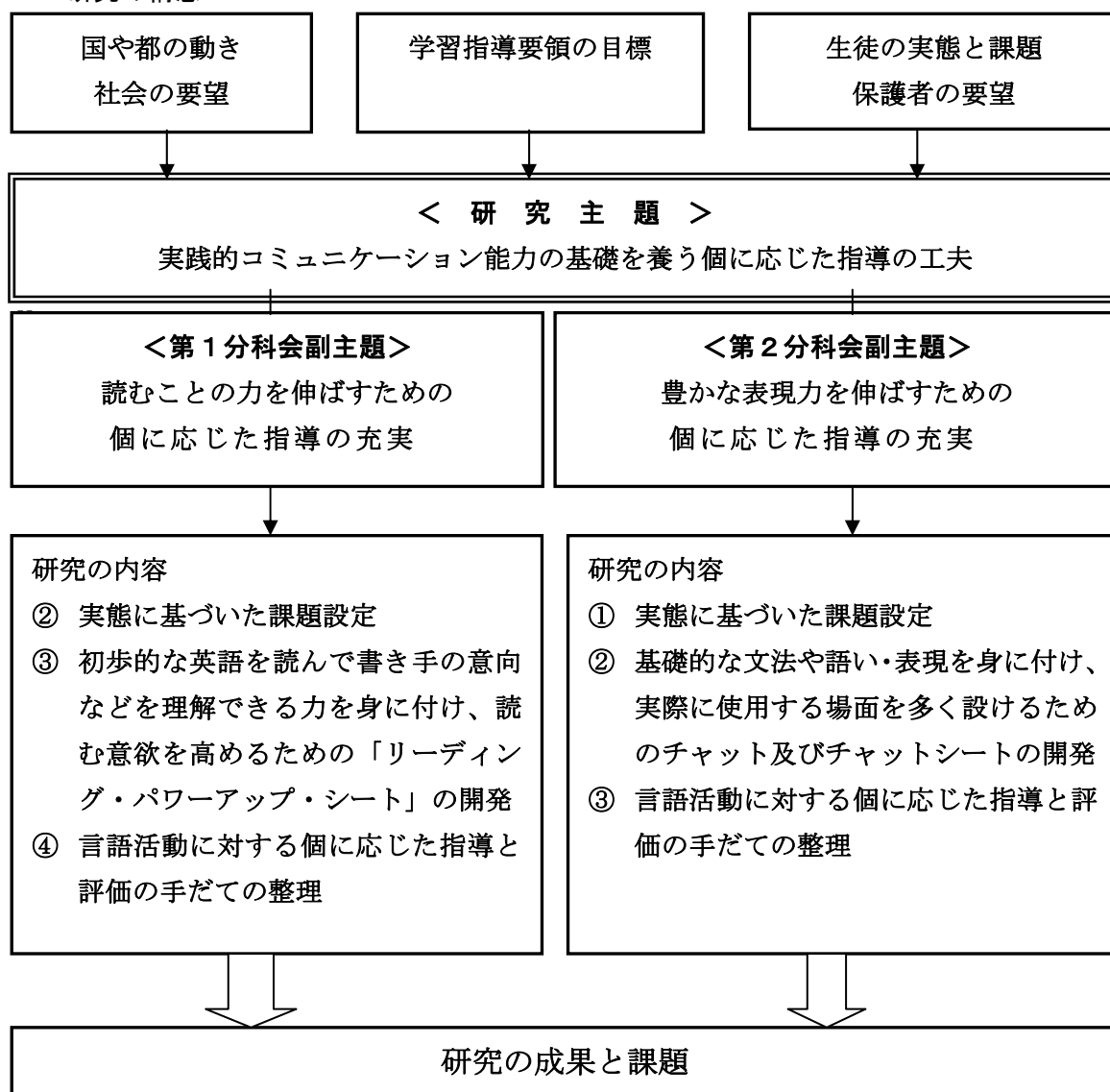
(3) 授業の実践

基礎研究及び調査研究を踏まえ、授業改善のための指導の手だてを構想し、各教育研究員の授業で実践した。また、効果を検証するための授業を実施した。

(4) 研究成果のまとめ

3回の検証授業や各教育研究員の授業における生徒の学習状況をもとに、授業改善のための指導の手だてをまとめた。

II 研究の構想



Ⅲ 第1分科会の研究

副主題 読むことの力を伸ばすための個に応じた指導の充実

1 副主題設定の理由と研究のねらい

学習指導要領では、外国語の目標として「実践的コミュニケーション能力の基礎を養う」ことが示されている。コミュニケーションは、相手の話したことや書いたことを理解し、自分の考えや意見を表現することで成り立っており、生徒に「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能の力をバランスよく身に付けさせることが不可欠である。言語活動は、「特に聞くこと及び話すことの言語活動に重点をおいて指導すること」となっており、このことを重視するあまり、「読むこと」の指導の工夫が十分に行われないう傾向も見られる。しかし、インターネット等の急速な普及により日常生活において文字情報は欠かせないものであり、英語で書かれた文章を読んで理解することは、コミュニケーションを支える大切な役割を担っている。

また、実践的コミュニケーション能力を養うためには、基礎的な文法力・語い力や表現力を身に付けさせる必要がある。しかし、それらが十分に身に付いていないために、英語でコミュニケーションをとることができない、または、とろうとする意欲を失ってしまっている生徒も見られる。このような傾向の見られる生徒は、英単語の意味が分からない、英文の構造が分からない、長い文章が読めない、ということが大きな妨げになり、活動を行うことに消極的になってしまったり、できなくなっていたりするという状況もあるのではないかと考える。

そのため、まず英語の文を読むことの力を育成することで、生徒の英語学習に対する消極性や抵抗感が減り、他の言語活動に取り組む意欲も増し、実践的コミュニケーション能力が育成されるのではないかと考えた。これらの理由により、第1分科会では、読むことの力を伸ばすための効果的な指導の在り方を研究することとした。

2 研究の仮説

以上のことを踏まえ、以下のような仮説を設定した。

仮説

ワークシートを活用した段階的・継続的な読むことの指導を行うことにより、英語の文に対する抵抗感を軽減し、読むこと力や態度が養われる。

3 研究の内容

(1) 指導上の課題

第1分科会で、英語で「読むこと」に関する指導上の課題を、次のように整理した。

- ① 語い力の不足が原因で、英語の文を読むことに困難を感じている生徒に対する指導が十分に行われていない。
- ② 英語の文を読解する様々な力の不足が原因で、英語の文を読むことに困難を感じている生徒に対する指導が十分に行われていない。

(2) 意識調査

生徒が長文を読むときに、どのようなことにつまずいているかを把握することにより、どのような手だてが効果的であるかを知る手がかりとして、質問紙法による意識調査を実施した。

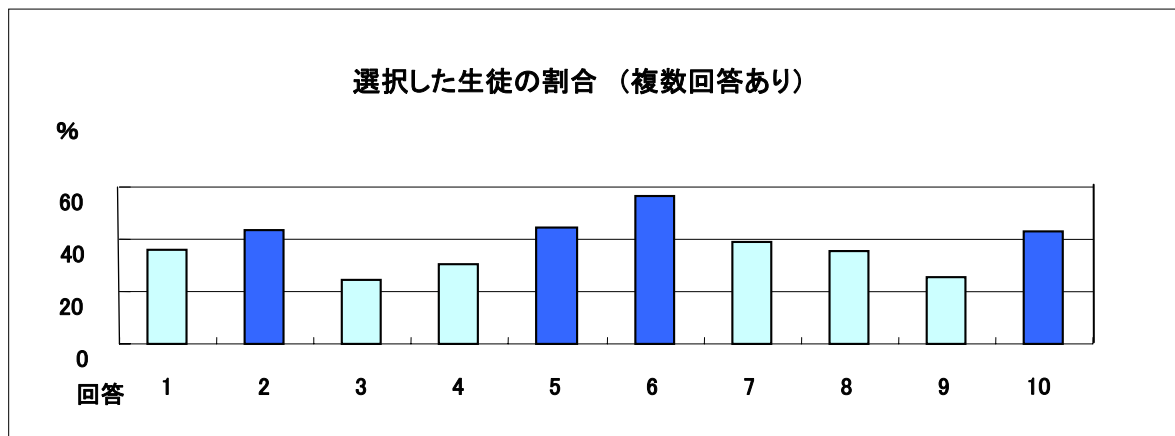
① 調査対象 都内公立中学校（教育研究員の所属校）生徒 第2・3学年774名

質問 「教科書やテストなどで長い英文を読むとき、何に困っていますか。下の項目の中であてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでもかまいません。）」

② 調査結果

＜回答の選択肢＞

- 1 単語の読み方と意味が分からない。
- 2 単語の読み方は分かるが、意味が分からない。
- 3 単語の意味は分かるが、読み方が分からない。
- 4 聞けば意味が分かる単語でも、書いてあると意味が分からない。
- 5 習ったはずの単語でも、他の場所に出てくると意味が分からない。
- 6 たくさんの意味がある単語を見たとき、どういう意味で使われているか分からない。
- 7 読み方や意味の分からない単語があると、気になって先に読み進めることができない。
- 8 1つ1つの英文のしくみがわからないと、気になって先に読み進めることができない。
- 9 英文の内容はほぼ正しく理解できると思うが、読む時間が足りない。
- 10 英文の内容は理解できているはずなのに、テストなどの質問に正しく答えられない。



回答2、5、6の選択数が多いことから、単語の意味が分からないために英文を読むことに困難を感じていることが分かる。また、回答10の選択数が多いことから、テストなどの質問に答えられないことが英文を読むことに対する抵抗感を強めていると考えられる。

(3) 課題解決のための手だて

読むことの力をつけるために、毎時間の授業で、短時間で実施できる簡単な英文を読む活動を継続的に行う。活動のためのワークシートを作成するにあたり、習熟の程度に対応した内容構成を工夫し、英文を読むことが不得意な生徒も取り組めるように配慮する。また、一文一文の英語を日本語に訳す読み方ではなく、文章の大意を理解する読み方ができる構成とする。

4 実践事例

読むことの手を育てるために「リーディング・パワーアップ・シート」を取り入れた実践事例

(1) 「リーディング・パワーアップ・シート」の開発

第1分科会では、読むことの指導にかかわる課題解決の手だてとして、教科書の題材を通して行う「読むこと」の活動に加えて、毎時間の授業で継続的に取り組み、短時間で扱える「リーディング・パワーアップ・シート」（シートの例は9～11ページを参照）を作成することとした。対象は英文を読む量が徐々に増えてくる第2学年の生徒とし、読むことに対する抵抗感や苦手意識（文中に出てきた単語の意味が思い出せない、長文を読むのに時間が足りない、設問に答えられないなど）を軽減することができ、また、細かな文法項目や単語の綴りを気にせず、「文章の大意を理解する」読み方ができるよう、シートの内容や実施方法を以下のように工夫した。

なお、第1分科会の各教育研究員の所属校で、継続して計20回程度、本教材を使用した指導を行った。

①「リーディング・パワーアップ・シート」の内容

- ・使用する英語は既習の文法事項や単語の知識で理解できる程度とし、新たなことを学ぶのではなく、復習の一環として取り組めるようにする。
- ・シートに載せる文章は、教科書の既習ページの文章を書き直したものや、それを参考に新たに作成したものなどとし、難解な内容のものは避ける。
- ・1枚のシートに3つのステップを設け、1問1点、計10点になるようにする。
- ・「ステップ1」では、「ステップ2」の文章を読む際に必要な単語を確認するための設問を設ける。
- ・「ステップ2」は、意味のまとまりごとにスラッシュ（ / ）で区切る、単語と単語の間隔を広く取る、文章の内容に深くかかわる単語を太字にするなどの工夫を加えた文章を読んだあとで、設問に答える形式とする。また、解答は、答えを記号や絵などから選択するもの、あるいは簡単なことばで答えられるものにする。
- ・「ステップ3」は、「ステップ2」と同じ文章を上記の工夫を加えない状態で与え、設問に答える形式とする。また、解答は、英問英答や記述式を含めるが、あくまでも文章の大意を理解するものとする。

②「リーディング・パワーアップ・シート」を使用した指導の実施方法

- ・シートに取り組む時間を3分～4分とし、教師による「ステップ2」、「ステップ3」の解答の確認を合わせて、所要時間は5分程度とする。
- ・生徒は「ステップ1」を終えた段階で、各自でシート裏面の解答を見てチェックしてから、「ステップ2」、「ステップ3」に進む。
- ・1問1点、計10点で得点をつけ、各校で使用している自己評価カードやチェック表などに記録する。

(2) 検証授業

「リーディング・パワーアップ・シート」による「読むこと」の指導を開始して約2か月が経過した10月中旬に、20枚のシートを活用した指導の効果を検証するため、第2学年習熟度別少人数クラスで以下のような検証授業を行った。通常の授業では、「リーディング・パワー

ップ・シート」を使用した活動は授業の冒頭に1回行うが、本授業では、読むことに重点を置いた指導を行うため、授業の終末に、教科書の題材を発展させたやや長めのまとまりのある英文を読むシートによる活動を加えた。

① 使用教科書 NEW HORIZON English Course 2 (東京書籍)

“Lesson4 Homestay in the United States”

② 単元の目標

ア 助動詞 (have to, do not have to, will, must, must not) を用いた文を理解し、身近な事柄について助動詞を使用した文を使って表現することができる。

イ 題材を通して、ホームステイについて理解を深め、母語や文化が異なる人の中で自分の意思を伝えることの大切さについて学ぶ。

③ 単元の指導計画

第1時	Lesson4 Section 1	have to, do not have to の使い方に慣れる
第2時 (本時)	Lesson4 Section 1	ホームステイについて考える、本文の内容理解
第3時	Lesson4 Section 2	will の使い方に慣れる、本文の内容理解
第4時	Lesson4 Section 3	must の使い方に慣れる、本文の内容理解
第5時	Lesson4 Section 4	must not の使い方に慣れる、本文の内容理解

④ 本時の目標と評価の観点

ア 習熟の程度に応じて「リーディング・パワーアップ・シート」の英文を意欲的に読み取るうとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 「読むこと」

イ 「ホームステイガイドブック」の大切な部分を読み取ることができる。

【理解の能力】 「読むこと」

ウ コミュニケーションをするための基本的な心構えについて理解を深める。

【言語や文化についての知識・理解】

⑤ 検証事項

ア 本時の「読むこと」への取り組みの様子を観察する。

- ・本文の内容を積極的に読み取ろうとしているか。

イ 「リーディング・パワーアップ・シート」(2種類)への取り組みの様子を観察する。

- ・全員が時間内に「ステップ2」(基本的な英文を読む)まで到達しているか。
- ・内容を理解しながら集中して取り組んでいるか。

⑥ 本時の指導過程

時間	学習内容	生徒の活動	指導上の留意点及び評価 (■ 補充的学習 □ 発展的学習) 〈 〉 評価手段
10分	ウォームアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・チャット「先週末にしたこと」のトピックで1分間対話を続ける ・「リーディング・パワーアップ・シート1」(「パーティーへの誘い」)に取り組む(p.9参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで対話を継続できるよう支援する ・全員「ステップ2」まで到達する

5分	復習 単語復習 前時の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュカードに瞬時に反応し単語を確認する ・have to, do not have to を使った表現を理解し適切な文を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ■フォニックスのポイントとなる箇所に印をつけたカードを使用する
33分	導入 概要把握	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の読みに入る前にホームステイという単語から内容を推測する ・ホームステイの成功要素を考える ・ホームステイ経験者であるゲスト・ティーチャーに質問し情報を得る 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを深めている〈質問〉 ・メモを見ながらゲスト・ティーチャーと対話し情報を得ようとする〈ワークシート〉
	展開 内容理解	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホームステイガイドブック」の大切な部分を読み取ろうとする ・内容確認 ・一斉読みに取り組む ・個人読みに取り組む ・習熟の程度に応じクローズ・リーディング（重要語を空欄にしたプリントを使用）に取り組む、正解数をポイントカードに記入する ・「リーディング・パワーアップ・シート2」（「コミュニケーションの重要性」）に取り組む（p.11参照） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホームステイガイドブック」の大切な部分を読み取らせ、自分の意思を伝えるための方法について考えさせる【理解の能力】「読むこと」 【言語や文化についての知識・理解】〈質問〉 <input type="checkbox"/> read and look up ■ <input type="checkbox"/> 自分の習熟度に応じてレベルA Bを選択する ■ 意味のまとまりごとに切った文を読む
2分	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードとポイントカードに記入し本時の学習を振り返る 	

<「リーディング・パワーアップ・シート」取り組みの様子>



(3) 「リーディング・パワーアップ・シート」の例

①【リーディング・パワーアップ・シート】「パーティーへの誘い」〈基本の形式〉

リーディング・パワーアップシート ⑫

Score /10

Class _____ No. _____ Name _____

ステップ1 Q 次の単語の意味として適するものを選び、○をつけなさい。

1 free (忙しい 退屈な ひまな 悲しい)

2 plan (計画する 演奏する 遊ぶ 練習する)

3 party (勉強 試合 パーティー 会議)

4 noon (午前 正午 午後 真夜中)

5 then (それは それとも そのとき そこに)

ステップ2 Q 次の会話文を読んで、質問に答えなさい。

読む力をつけるためのポイント **日本語に訳さず、すばやく読みましょう!**

ダン: Hello?

ベッキー: Hello, Dan? This is Becky.

ダン: Oh! Hi, Becky.

ベッキー: Are you **free** this **Saturday**?
We're **planning** a **party**.

ダン: **Yes**, I'm free. **What time**?

ベッキー: How about **noon**?

ダン: OK. See you then. Goodbye.

ベッキー: Bye.

6 ベッキーはダンを何に誘いましたか? (日本語で) _____

7 ダンとベッキーは何曜日に会いますか? _____ 曜日

8 ダンとベッキーは何時に会いますか? (昼の・夜の) _____ 時

【表面】

1問1点、計10点になるようにし、生徒一人一人が自分の語い力を把握しやすいようにする。

「ステップ1」は、「ステップ2」の文章を読む際に必要な単語を中心に復習できるようにする。

「ステップ2」の文章は、あらすじや登場人物の言動が分かりやすいよう、ポイントとなる単語を太字にしたり、意味のまとまりごとに間隔を余分に空けたり、スラッシュ (/) を入れたりする。

「ステップ2」の設問は、長い記述式のは避け、記号または単語だけで答えられるものにする。

ステップ3 Q 次の会話文を読んで、質問に答えなさい。

ダン: Hello?

ベッキー: Hello, Dan? This is Becky.

ダン: Oh! Hi, Becky.

ベッキー: Are you free this Saturday?
We're planning a party.

ダン: Yes, I'm free. What time?

ベッキー: How about noon?

ダン: OK. See you then. Goodbye.

ベッキー: Bye.

Q 次の質問に英語で答えなさい。

9 Is Dan free this Saturday?

10 What will they do this Saturday?

ステップ1の答え
1 free 暇な
2 plan 計画する
3 party パーティー
4 noon 正午
5 then そのとき

【裏面】

「ステップ3」の文章は、「ステップ2」と同じもので、工夫を加えない状態で裏面に載せる。(このシートの場合、太字と間隔を元に戻した。)

「ステップ3」の設問は、やや難易度の高い英問英答や記述式を入れる。

裏面の一番下に、表面の「ステップ1」の解答を載せ、各自で答え合わせができるようにする。

②【リーディング・パワーアップ・シート】〈絵を用いた例〉

【表面】

リーディング・パワーアップシート

Score /10


Class _____ No _____ Name _____

ステップ1

★ 1 曜日を月曜日から順番に並べ替え、記号で書きなさい。
(ウ・キ)

ア Wednesday イ Saturday ウ Monday エ Tuesday
オ Friday カ Thursday キ Sunday

★ 2 次の絵に關係のある表現はどれか、記号で答えなさい。
2 () 3 () 4 ()




ア in the kitchen イ with my friend ウ at home エ listen to music

ステップ2 Q ケンが書いた英文を読んで、後の質問に答えなさい。

読む力をつけるためのポイント 日本語に訳さず、すばやく読みましょう!

My family enjoys Sundays.
I listen to music. Sometimes I swim with my friends.
My father often cooks on Sundays. He is in the kitchen now.
He is making bread for us.
My grandfather is playing shogi with his friends.
Can you hear the music?
My grandmother is playing the shamisen now.
My mother and sister aren't at home today. Why?
They are doing *volunteer work at the hospital.
They are helping old people there. *volunteer work = 奉仕活動

★ 次の絵と關係ある人は誰か、下から選んで記号で答えなさい。
5 () 6 () 7 ()



ア お父さん イ お母さん ウ おじいさん エ おばさん オ お姉さん カ ケン

「ステップ 1」では、まとめて覚えたほうがよい単語（月、曜日、天気など）は、同時に復習できるようにする。

「ステップ 2」の文章は、できる限り、一文ごとに行を改めて読みやすくする。

「ステップ 2」の設問は、絵を用いることもできるが、絵の解釈に気を取られないような分かりやすいものを選んで使う。

【裏面】

ステップ3

Q 次の文を読んで、質問に答えなさい。

My family enjoys Sundays. I listen to music. Sometimes I swim with my friends. My father often cooks on Sundays. He is in the kitchen now. He is making bread for us. My grandfather is playing shogi with his friends. Can you hear the music? My grandmother is playing the shamisen now. My mother and sister aren't at home today. Why? They are doing volunteer work at the hospital. They are helping old people there.

8 家にいないのはだれでしょう？下の枠内から選びなさい。
()と()

ア、father イ、mother ウ、grandfather エ、grandmother
オ、brother カ、sister キ、Ken

9 下線部の He とはだれのことでしょう？上の枠内から選びなさい。
()

10 この英文にタイトルをつけるとしたらどれが一番いいですか？
()

ア 家族の職業について
イ 私のペットについて
ウ 日曜日の家族の様子
エ 夏休みのレポート

2 エ (listen to music) 3 イ (with my friend) 4 ア (in the kitchen)
1 イ・エ・カ・オ
2 エの答え

「ステップ 3」の文章は、「ステップ 2」と同じもので、工夫を加えない状態で裏面に載せる。（このシートの場合、太字、スペース、一文ごとの改行を元に戻した。）

「ステップ 3」の設問は、タイトルやテーマについて考えさせる、代名詞について考えさせるなど文章の流れ全体を把握していないと正しい解答につながらないものを取り入れる。

③【リーディング・パワーアップ・シート】「コミュニケーションの重要性」＜教科書の英文を発展させた例＞

教科書 NEW HORIZON English Course 2 (東京書籍) から

Lesson 4 Homestay in the United States Section 1

Communication is important.
 You have to speak English.
 But you don't have to speak perfect English.

You're a member of the family.
 You have to help with your housework.

上の教科書の英文に新たな文を付け加えたシートの例 (ステップ2に、ステップ3の要素も加えて、二つのステップで構成)

【表面】

【裏面】

リーディング・パワーアップシート

【スペシャルバージョン】 Score /10

Class _____ No _____ Name _____

ステップ1 Q 次の単語の意味として適するものを選び、○をつけなさい。

- I point the mark. (ゆびさす 勉強する 食事する)
- Mother is in the kitchen. (トイレ 台所 ろうか)
- A map is on the wall. (ノート ポスター 地図)
- I clean my room. (そうじする 洗濯する 皿を洗う)
- I use bathroom everyday. (浴室 玄関 ろうか)

ステップ2 Q 次の会話文を読んで、質問に答えなさい。

読む力を上げるためのポイント **日本語に訳さず、すばやく読みましょう!**

Communication is important.
 You have to **speak English**.
 But you **don't** have to **speak perfect** English.
 For example, when **Bob** wants to **go** to the **station**,
 he **pointed** at the **map** and said, "Station?" It's ok.

You're **a member** of the **family**.
 You have to **help** with the **housework**.
 It is **important** to **clean your room** and **help** your mother or father
 to clean the kitchen and bathroom.
 If your house is **clean**, **everybody** is **happy**.
 So please **help** with the **housework!**

6 ホームステイの時、しなくてはならない事を2つ書きなさい。

()

()

7 ホームステイした時、しなくてもよい事は何か。

()

()

8 ボブは駅に行きたい時どうしましたか。

()

()

9 家がきれいだと、みんなどんな気分になりますか。

()

ステップ1の答え

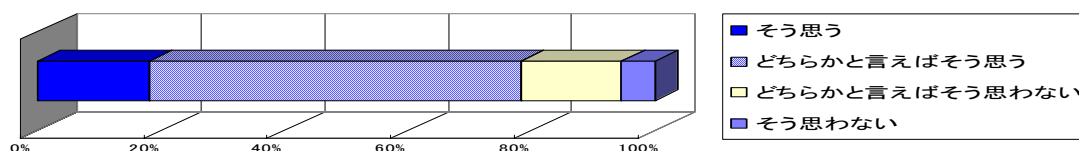
1 point ゆびさす 2 kitchen 台所 3 map 地図

4 clean そうじする 5 bathroom 浴室

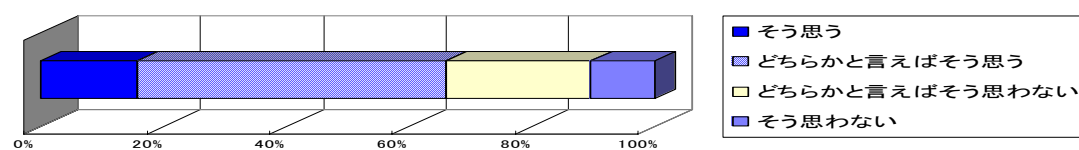
(4) 「リーディング・パワーアップ・シート」を使用した活動についての調査

「リーディング・パワーアップ・シート」が読むことの力や態度を育成する上で効果的な教材であるかどうかを把握するために、都内公立中学校（研究員の所属校）生徒第2・3学年165名を対象に調査を実施した。以下は、調査の設問と回答数である。

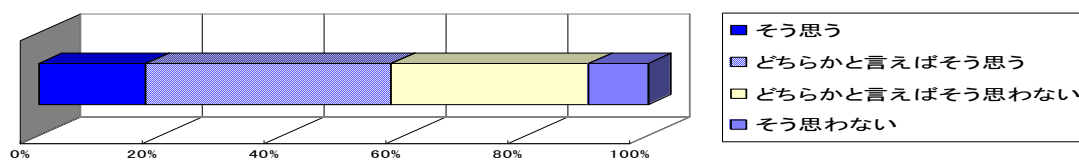
① 意味が分かる単語が増えたと思う。



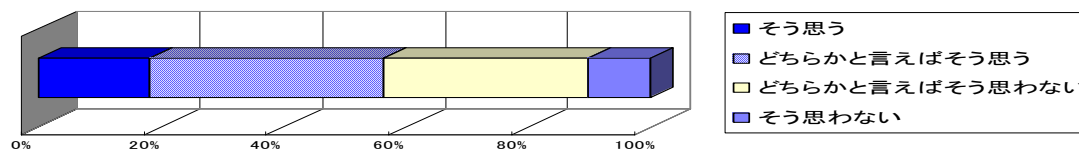
② 英文を読むスピードが上がったと思う。



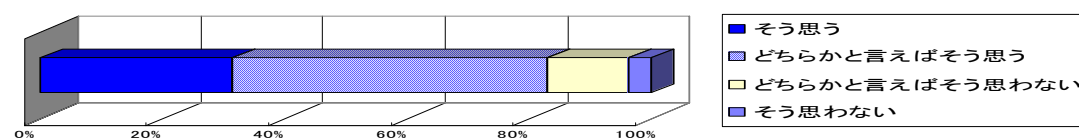
③ 日本語の訳にこだわらないで英文が読めるようになったと思う。



④ 英文を読むことに抵抗感がなくなったと思う。



⑤ 「リーディング・パワーアップ・シート」は読む力をつけるのに役立ったと思う。



この調査結果から、8割近くの生徒が、「リーディング・パワーアップ・シート」が読むことの力をつけるために役立ったと感じていることが分かる。「前より長い文が読めるようになった。」「続けてやってみて英文を早く読めるようになった。」という記述がある。

しかし、「ステップ2で読みやすいように文を区切ってあったことが、逆に読みにくかった。」「ステップ3の問題がやさしすぎた。」と感じている生徒もいる。

今後、個に応じた指導に対応して、ステップの構成を考えたリーディング・パワーアップ・シートの工夫・改善が必要である。

5 研究の成果と課題

第1分科会では、副主題を「読むことの力を伸ばすための個に応じた指導の充実」とし、主題へ迫るために「ワークシートを活用した段階的、継続的な読むことの指導を行うことにより、英語の文に対する抵抗感を軽減し、読むことの力や態度が養われる。」という仮説を立て研究に取り組んできた。読むことの指導のための効果的な教材として、「リーディング・パワーアップ・シート」を開発した。この教材を使用した指導を行った結果、次のような成果が見られ、また課題が明らかになった。

(1) 研究の成果

① 個に応じた指導への対応

英語が不得意な生徒にも得意な生徒にも対応できるように、1枚のシートで段階的に取り組める構成を工夫した。例えば「リーディング・パワーアップ・シート」の「ステップ1」では、「ステップ2」以降の文章を読む際に必要な単語を事前に確認できるよう工夫した。このことにより、「ステップ2」以降の文章を読み進める際に、生徒の抵抗感を減らすことができた。さらに、英語が不得意な生徒には単語の復習の機会にもなった。また、「ステップ3」では設問の難易度を上げ、発展的な学習ができるように対応した。

② 文章の大意を理解する指導への対応

「ステップ2」では、大意を理解できる文章の提示の工夫を行った。文章の内容を理解する上で重要な内容語（主語や述語）などを太字にしたり、意味のまとまりの後に間隔を空けるなどの工夫をしたりすることにより、まとまった文章を読む上でのポイントを身に付けさせることができた。また設問を工夫することにより、細かな文法項目や単語の綴りを気にせず、文章の大意を理解することを意識させることができた。

③ 継続的な指導への対応

これまで、多くの教師が読むことの指導の充実が課題であると認識しながらも、指導の時間が十分に確保できないため、具体的な手だてが十分には講じられてこなかった。そこで、毎時間5分程度で継続的に実施できる「リーディング・パワーアップ・シート」を開発した。初期の段階では、取り組むことに抵抗感をもっていた生徒も、回数を重ねるごとに進んで取り組む様子が見られた。

(2) 今後の課題

① 「リーディング・パワーアップ・シート」を段階的に分類

今回、第1分科会では、第1学年の後半～第2学年1学期の学習事項に対応した20枚のシートを作成した。1枚のシートは段階的に学習できるようになっているが、段階に応じた内容を吟味し、シート使用の順序を生徒の実態に応じて変えるなどの工夫をまとめて示すことにより、一層段階的な指導が可能になると考える。さらに、第2学年後半～第3学年に対応したシートも開発する。

② 「リーディング・パワーアップ・シート」の内容の充実

第1分科会の教育研究員が共同で作成し、各校で使用したが、シート1枚1枚の分科会全体での吟味が不十分であった。そのため、例えば、「ステップ2」における読みやすくするための手だてに違いがあった。シートを使用した授業を継続的に行うために、工夫の仕方を統一させ、内容の充実を図る。

IV 第2分科会の研究

副主題 豊かな表現力を伸ばすための個に応じた指導の充実

1 副主題設定の理由と研究のねらい

「『英語が使える日本人』の育成のための英語教員研修ガイドブック」（文部科学省、平成15年6月）では、学習指導要領のねらいを受け、私たち教師には「英語の指導においては、言語使用場面の設定を工夫しながら実際に英語を使用して、生徒が主体的に互いの気持ちや考えを伝え合うなどのコミュニケーション活動を行い、実際に英語を使う経験を積み重ねながら、自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、このような活動を通して文法などの言語材料の理解を図りながら、『聞く』『話す』『読む』『書く』の4領域の習得を図る効果的な指導」が求められるとしている。

平成17年1月に東京都教育委員会が都内公立中学校の2年生全員を対象に行った学力調査によると、コミュニケーションへの関心・意欲・態度を測る問題は平均正答率が90.6%と高水準であるが、表現の能力に関しては61.8%にとどまり課題が多い。

各学校では、「聞くこと」や「話すこと」に重点を置いた言語活動が実践されているが、どちらにおいても基本となる文法事項や基礎的な語いを増やす活動が中心となり、自分の気持ちや考えを口頭で伝え合い、さらに書いて表現することについては不十分である。また、自分が話すことにのみ気持ちが集中してしまい、相手の言うことを理解するまでには至らない状況が多く見られる。しかし、生徒の多くは、英語を使い、互いを理解し合いたいという思いをもっている。そこで、毎回の授業で自由に会話を楽しみ、それを振り返る活動を取り入れることで、英語で主体的に互いの気持ちや考えを伝え合うことができるようになり、書くことを含めた表現力を伸ばしていけるのではないかと考えた。

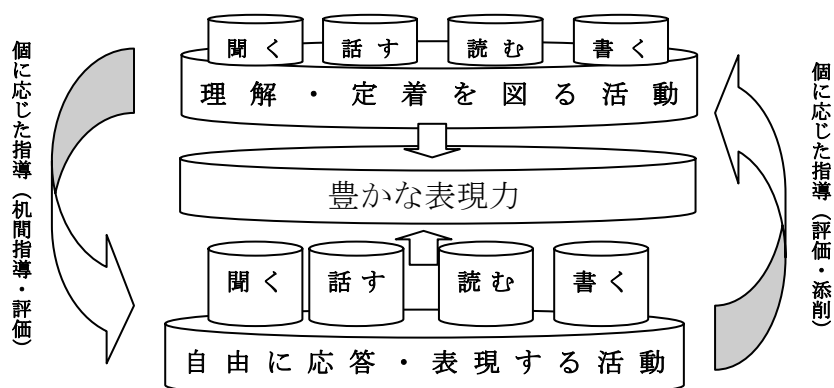
そこで第2分科会では、副主題を「豊かな表現力を伸ばすための個に応じた指導の充実」とし、その指導の在り方と具体的な指導の改善について研究することとした。

2 研究の仮説

以上のことを踏まえ、以下の仮説を設定した。

仮説

話すことの指導において、言語材料の定着を図った上で、トピックを設定した自由な会話を行うことにより、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と豊かな表現力が養われる。



3 研究の内容

(1) 指導上の課題

第2分科会で、英語で「表現すること」に関する指導上の課題を整理した。

- ① 英語を話す際に使用する文法や語いなどを定着させる指導が十分に行われていない。
- ② 「表現すること」の継続的な指導が十分に行われていない。

(2) 意識調査

効果的な手だてを知る手がかりとして教育研究員の所属校で質問紙法による英語の授業に関する意識調査を行った。

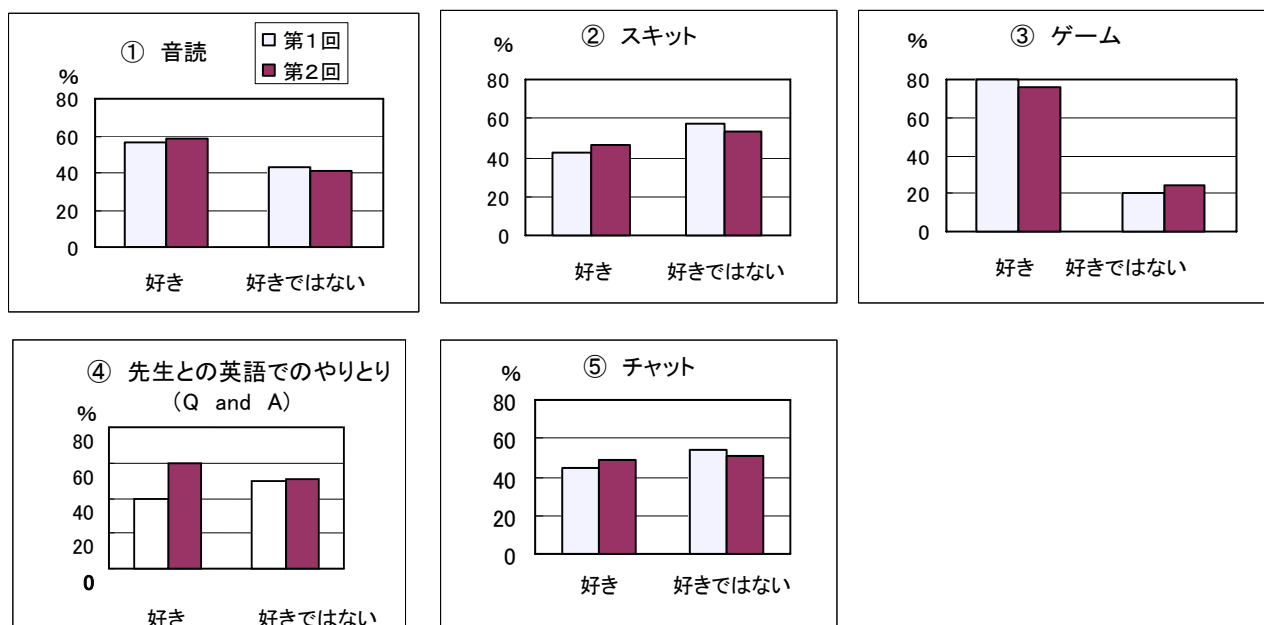
① 調査対象 都内公立中学校（教育研究員の所属校）生徒

第1回（7月初旬実施） 1,036名（第1学年 379名、第2学年 462名、第3学年 195名）

第2回（10月初旬実施） 1,040名（第1学年 369名、第2学年 473名、第3学年 234名）

質問 「次のそれぞれの活動が好きですか」

② 意識調査の結果と考察



チャット(自由な会話活動)の開始直後と、その3か月後に同じ質問で調査を行った。

その結果、チャットを始めてから、声を出すことへの抵抗感が薄れ、音読を好む生徒が増えた。友達と英語で会話をする中で、教師や外国人指導助手と英語で話すことができるようになってきたと考えられる。その結果として「先生との英語でのやりとり (Q and A)」を好む生徒が第1回調査に比較し10%近く増加した。

(3) 課題解決のための手だて

- ① 基本となる文法事項や基礎的な語いの定着を図るため、ビンゴゲーム、スキット、ペアワークなどの活動を継続的に行う。
- ② トピックや言語材料を設定した自由な会話活動(チャット)を継続的に行う。

4 実践事例

豊かな表現力を育てるためにチャットを取り入れた実践事例

(1) チャットについて

第2分科会では、授業の中で、ビンゴ・ゲームのように簡単に継続して実践できる活動の一つとして、チャットを取り上げた。

ここで言うチャットとは、自由会話の形態の一つで、話す際の正確さを求め過ぎず、間違いを恐れずに自分の知っている英語を駆使し、限られた時間の中で即興性のあるコミュニケーション活動を行うものである。

このチャットを行うことにより、英語で表現することに対する抵抗感をなくすことができ、また、話した英文をチャット・シートに書き込み、その英文を教師が机間指導やシートを回収して添削することによって、個に応じた指導を行い、その結果、豊かな表現力を育てることができると考えた。

言語活動、言語材料、定着させたい文例に応じて、チャットのトピックを下表にまとめた。

<チャットのトピック一覧表>

チャットのトピック (言語活動)	言語材料	定着させたい文例	
自己紹介をする	b e 動詞	Hello. My name is ~. / I am ~. Nice to meet you.	
友達を紹介する		This is ~. / He [She] is ~.	
所属する部活動について話す		What club are you in?	I'm in ~ club.
友達や兄弟（姉妹）のことを紹介する		~ is my friend [brother, sister]. He [She] is ~.	
絵や写真を見ながら、そこにあるものについて話す		Is [Are] there ~ in ...?	There is [are] ~ in
好きな食べ物について話す	一般動詞	Do you like ~? What food do you like?	I like ~.
持っているものについて話す		Do you have ~?	I have ~.
飼っているペットについて話す		Do you have any pets?	I have ~.
友達が好きなこと（もの）について話す	一般動詞 現在 (3 単現)	What does your friend like?	He [She] likes ~.

過去にしたことを話す	一般動詞 過去	What did you do last Sunday? What's new?	I went to ~ last Sunday.
一日の生活について話す（時刻）	疑問詞	What time do you get up?	I get up at ~.
		What time do you have breakfast?	I have breakfast at ~.
身の回りのことを話す		How many pencils do you have?	I have ~ pencils.
		Where did you buy them?	I bought them at ~.
習い事や部活動について話す		When do you practice ~?	I practice it on
家までかかる時間をたずねる		How long does it take to your house?	It takes (about) ~ minutes.
持ち物の値段をたずねる		How much is ~?	It's (about) ~ yen.
絵や写真を見ながら、何をしているのか問答する	現在進行形	What is he [she] doing?	He [She] is ~ing....
過去のある時点にしていたことを問答する	過去進行形	What were you doing then?	I was ~ing
できること・できないことについて話す	助動詞	Can you ~?	I can ~. I can't ~.
これからの予定について話す	未来形	What are you going to do?	I'm going to ~.
		What will you do?	I will ~.
したいこと・好きなことについて話す	不定詞	What do you want to do? What do you like to do?	I want to ~. I like to ~.
どこに、なぜ行きたいのかをたずねる		Where do you want to go ~? Why do you want to go there?	I want to go to ~. To ~.
より好きなもの（こと）をたずねる	比較級 最上級	Which do you like better, A or B?	I like A better than B.

一番好きなもの (こと)について話す		What do you like the best?	I like ~ the best.
社会・文化について 話す	受身形	What language is spoken in ~?	English is spoken in the USA.
継続していることについて話す	現在完了	How long have you ~?	I have ~ for [since]....
行ったことのある 場所について話す		Have you ever been to ~?	I have been to ~.

(2) チャットの実施方法について

ウォーム・アップとして、あるいは、新出言語材料の定着のために、毎時間の授業の中でチャットを1回ずつ行う。

話す内容について慣れ、さらに言語材料を定着させるために、同じトピックによるチャットを3回連続で行う。

チャットの具体的な実施方法については、以下の通りである。

まず、チャット・シート（P. 21参照）を配布し、そのシートに提示されているトピックについて、話す内容を30秒間考えさせる。

次にペアでのチャットを行わせる。ペアの組み方は、3回ともパートナーが変わるよう工夫する。（例えば、1回目は座席の前後、2回目は左右、3回目は斜めで組む。自由にペアを作る場合は、生徒の人間関係等に十分配慮する必要がある。）チャットを行っている間は必ず相手を見ながら会話をしよう指導する。会話の時間は、学年や生徒の実態に応じて1分から2分間とする。

チャットを行った後、話した内容をチャット・シートに転記させる。転記する分量についても、学年や生徒の実態に応じて、2文から話した英語全文とする。生徒が転記している間、教師は机間指導により添削を行う。また、生徒がチャット・シートに書き込んだ表現を取り上げ、それを板書することにより、生徒全員が共有できるよう工夫する。

その後、チャット・シートを回収し、評価する。チャットの所要時間は5分から6分間とする。

(3) チャットをより豊かなものにするために

チャットをより豊かにするために、次のような表現を適宜教えることが必要である。

I see. / Really? / That's great! / That's too bad. / Me, too. / Me, either. / I think so, too. / I don't think so. / Pardon? / Well... / Let me see. / Uh-huh.など

そのための工夫として、新出言語材料導入時に、相づち、相手の話の繰り返し等を入れたワークシートを用いた言語活動を行った。

ワークシートの作成では、ゲーム的な要素を取り入れ、なるべく生徒が楽しく活動でき、また、使用する英文も複雑でないものになるように留意した。

(4) 検証授業

チャットを開始して約1か月後の9月初旬に、第1学年で次に示す検証授業を行った。

① 使用教科書 New Crown English Series 1 (三省堂) Lesson 4 I Am a Champion

② 単元の目標

- ア 一般動詞を用いて、自分や相手がすることなどについて表現できる。
- イ 一般動詞を用いて、相手がすることなどについて尋ね、答えることができる。
- ウ do not (don't)を用いて、自分や相手のしないことなどについて表現できる。
- エ What~do you like?を用いて、相手の好きなものについて尋ね、答えることができる。

③ 単元の指導計画

第1時	導入	I have (like, play)~. Do you have (like, play)~? I do not have (like, play)~. の言語材料の提示、定着と言語活動の導入
第2時	導入	What do you have ~? の言語材料の提示、定着と言語活動の導入 What ~ do you like? の言語材料の提示と言語活動の導入
第3時	Lesson4-1	I have (like, play)~. Do you have (like, play)~? I do not have (like, play)~. の表現の復習と定着、本文内容理解 チャット「好きなこと・もの」1回目
第4時	Lesson4-2	What do you have ~? を用いた表現の復習と定着、本文の内容理解 チャット「好きなこと・もの」2回目
第5時 (本時)	Lesson4-3	What ~ do you like? を用いた表現の復習と定着、本文の内容理解 チャット「好きなこと・もの」3回目
第6時	まとめ	本文のディクテーション、言語材料のまとめ

④ 本時の目標

- ア ワークシートを用いた言語活動により、好きなものを尋ねる疑問文とその答え方に慣れる。
- イ チャット・シート「好きなこと・もの」を用いた言語活動（3回目）により、英語で自分の好きなこと・ものを表現し、相手の好きなもの・ことについて尋ねることができる。




⑤ 本時の言語活動

- ア好きなものを尋ねる疑問文とその答え方についてのワークシートを用いた言語活動
- イ チャット・シート「好きなこと・もの」を用いた言語活動（3回目）

⑥ 本時の評価の観点

- ア ワークシートを用いた言語活動で、相手の発言に関心をもって聞くことができる。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】「聞くこと」
- イ ワークシートを用いた言語活動で、英語だけを用いて積極的に自分の意思を伝える。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】「話すこと」
- ウ ワークシートを用いた言語活動で、ワークシートの会話例に頼らず、自分の意思を伝える。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】「話すこと」
- エ ワークシートを用いた言語活動で、表現の仕方が分からないときに、教師に聞き、英語で活動できるよう努力する。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】「話すこと」
- オ チャットで自分が話した内容をもとに2つの英文を書くことができる。
【表現の能力】「書くこと」

⑦ 本時の授業展開

時間	学習内容	生徒の活動	指導上の留意点及び評価
5分	ウォームアップ ビンゴ・ゲーム	・ビンゴ・ゲームを行う	
20分	好きなものを尋ねる疑問文とその答え方について慣れる練習	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを使って言語活動を行う ・やり方の説明 ・会話の練習 何度も練習をし、会話例を覚え会話例を見ずに活動できるようにする ・活動 会話例を裏に折り込み、その部分をなるべく見ないように活動する ・終了 条件に合う人を何人見つけられたかで勝敗を決める 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の観点 ア、イ、ウ、エ <観察> 
5分	言語材料の定着 チャット	チャット「好きなこと・もの」(P. 21参照) <ul style="list-style-type: none"> ・テーマの提示「好きなこと・もの」 ・話す内容を各自で整理(30秒) ・ペアでのチャット(1分間) ・話した内容のチャット・シートへの書き込み ・チャット・シートの回収 	<ul style="list-style-type: none"> ・トピック一覧表(P. 16~18参照) ・机間指導による添削をする。 ・評価の観点 オ <チャット・シート>
20分	教科書本文の内容理解その1 本文の音読練習 本文の内容理解その2	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャーカードによる本文の内容の口頭での紹介 ・新出語句導入(フラッシュカードを使用) 単語の意味を推測させる ・T/F questions ・教師の後に続いて音読 ・個人練習 ・ペアワーク ・Read and Look up ・Q & A 	 <ul style="list-style-type: none"> ・音読に困難を感じている生徒に対して机間指導による支援を行う。 ・生徒全体に質問をし、生徒の反応や発言を拾いながら答えを導き出す。

⑧ 本時に使用したチャット・シート

Let's Chat 1		Date Sep 9th	Class	Student number	Name
今日のトピック		好きなこと・もの		相手の名前()	
自分達の話した英文 (2文書こう)		相手の名前()			
1	What sport do you like?				
2	I like tennis				
あいつちができましたか。		はい・いいえ			
相手の話の繰り返しができましたか。		はい・いいえ			
相手に自分の言いたいことを伝えられましたか。		はい・いいえ			
大変良かったです		良くできた	あまり良くできなかった	良くできなかった	
今日のチャットで「言いたかったけど言えなかったこと」はありますか。					
今日の反省・感想					
相手の好きなスポーツに「私もソレすま！」と言えて、共通点が見つけられてよかった。					

●他のチャット・シート例

「どこに、なぜ行きたいのかをたずねる」

Let's chat!		Class	No	
		Name		
Date	Thursday, November 29th		Evaluation Eye contact (A) B C Natural response (A) B C New expression (A) B C Learned expression (A) B C	
Today's Topic	Your Partner			
☆ Where do you want to go? I want to go to Hokkaido. ☆ Why? Because I like cold. ☆ Oh, You like cold. Where do you want to go? ☆ I want to go to				
Australia. Why? ☆ I want to see Koar				
I wanted to say...				
Date	Friday, December 2nd		2年生で使用。 3回分のチャットを記入する形式。 話した英文を全部記入する。 ☆印は自分の話した英語。	
Today's Topic	Your Partner			
☆ Where do you want to go? I want to go to Kyusyu. ☆ Why? I like h				
Oh, you like hot. Where do you want to go? ☆ I want to go to Okinawa. Why? I				
eat Okinawa food. Oh, me too. What do you				
I wanted to say... like Okinawa food?				
Date	Friday, December 2nd		Evaluation Eye contact (A) B C Natural response (A) B C New expression (A) B C Learned expression (A) B C Total (A) B C	
Today's Topic	Your Partner			
☆ Where do you want to go? I want to go to Amelika. ☆ Why? I like Amelika				
☆ When will you go to Amelika? I will go to Amelika next year. Where do you				
want to go?				
I wanted to say...				
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		A	B	C
表現の能力		A	B	C

*生徒作品のため原文のまま載せた。

⑨ チャットを行って

ア 生徒の変容

チャットに取り組み始めた当初は、お互いに沈黙を続けてしまう生徒や、日本語を使ってしまう生徒が多かった。その際に、教師は、「相手と自分との共通点を会話の中で見つけていこう」、「相手をほめよう」など、会話をスムーズに運ぶためのポイントを生徒に示した。

また、相手が英語を話すことが不得意な場合には、まず自分のことを話し、理解されないときは、ジェスチャーを交えたり、簡単な英語に置き換えたりするなど、表現の工夫をするよう指導した。

例えば、“What sport do you like?”という文の意味が伝わらないときは、どうすれば伝わるか、生徒に考えさせる。すると、生徒から、“I am a baseball fan. I like baseball.”とまず自分が好きなスポーツのことについてジェスチャーを交えながら話した後、“Do you like baseball? Do you like tennis?”とスポーツの内容を変えながら尋ねていけばよい、それから相手に“What sport do you like?”と聞けばよいのではないか、という答えが返ってくる。

このようにして、相手の理解度に応じ、それぞれの生徒が工夫しながらチャットを進めていくことによって、お互いにリラックスした雰囲気の中で、自然にチャットが弾むようになった。そして多くの生徒が日本語に頼ることなく、英語でチャットを進めていくことができるようになった。チャットを継続的に行ったことで、チャットに取り組み始めた当初より、英語で表現することに対する抵抗感をなくすことができたと言える。その結果、初めは1分であったが、2学期には1分半くらいまでは会話を続けることもできるようになってきた。

チャットを行った後、話した内容をチャット・シートに転記させたが、転記する分量は、検証授業を行った学校では学年の実態や実施時間を考慮し、2文とした。その後、チャットの継続とともに、3文や4文を書く生徒もでてきた。生徒が転記している間、教師は机間指導を行い英文を添削した。また、授業で短時間に生徒に表現方法を伝え、他の生徒もその表現を共有できるよう、黒板に生徒の表現を板書した。その結果、自分の英文を板書された生徒は、より意欲が高く、さらに、多くの生徒が次のチャットではそれまでは使えなかった表現を使うようになった。

イ チャットの改善の方向性

より高度な内容のチャットを行うには、トピックの提示だけでは限界が出てきた。1年生では習得している言語材料もまだ少ないが、今後、チャットをさらに充実させるために、扱うトピックや言語材料によっては、絵や写真、地図、ビデオなどを使用することも必要であると考えられる。

新出言語材料導入時に言語材料やチャットで使う表現を入れたワークシートを用いた言語活動を行い、チャットをより豊かにする取り組みを行った。検証授業の生徒は1年生で、ゲーム感覚で楽しむこともできたが、学年や生徒の実態に応じて、ワークシートでの活動をチャットに発展させるため、多様なワークシートやゲームを用い、生徒が意欲的に取り組むことができるよう工夫することが課題である。

5 研究の成果と課題

(1) 研究の成果

一般的に、今までの授業では、「言語材料を定着させるための活動」は盛んに行われてきたが、学んだ文型や語いを実際に「自由な会話」の中で使用する活動が極めて少なかった。このことが、「実践的コミュニケーション能力の育成」の面において成果が上がらなかったことの原因の1つと考える。

英語の授業に関する意識調査でも、この傾向が顕著に表れている。ペアワークやスキットなどの活動も主に言語活動の定着を図るために行われており、「先生との英語でのやりとり」に対する苦手意識は極めて高い。また、「英語を何に役立てたいか」では、このような「自由な会話」を行う活動を好む生徒は、実生活における具体的な英語の使用を意識した「海外留学・生活」「英語を使う仕事」を選択する傾向にあった。

そこで、第2分科会では、多少の間違いを恐れず自由に会話する場としてのチャットの活動を中心に実践した。チャットの実践には、教師が躊躇することも多いことも踏まえ、「明日からでもすぐ始められるチャットの指導手順」の開発とその「チャット・シートの作成」に重点を置いた。

チャットの活動開始3か月後の第2回の意識調査では、チャットへの肯定的な意見が大きく増えた。「何とか続いたけれど、もっと話せるようにしたい。」「話題が見つからない。」「難しい。」「質問したら、違うことを言われて困った。」「言いたいことが、うまく言えない。」というものから、回数を重ねるごとに「前回より、スムーズにできた。」「少しずつ、続いてきたような気がする。」「話が盛り上がったので、1分では足りなかった。」「うまくなってきたので、(みんなの前で)次は発表したい。」という生徒自身にとっても成長がはっきり感じられる活動となった。また、他の活動においても、チャットを意識して積極的に役立つ表現を覚える姿も目立つようになってきた。このように「豊かな表現力」をはぐくむためには、「言語材料の定着を図る活動」と「自由な会話」をバランスよく設定する必要があることが明らかになったと考える。

(2) 今後の課題

チャットのような自由会話は、言語材料の定着を図る活動と同様に、段階的・継続的な指導により効果が増すが、シートの準備や評価など教師の負担も多い。教師にとっても大変負担の多い活動である。一方で、生徒がこのような活動に対して抵抗感をもつ理由は、「言いたくても、それを表現できない」という知識面もあれば、「失敗が恥ずかしい」という情意面、教室内での人間関係、「トピック」の好み、個々の英語学習歴など複雑な要素が絡む。したがって、教師による細やかな「個に応じた指導」が大切になってくる。また、限られた時間の中で、どのように取り扱い、位置付け、評価するのか、ということが重要である。

同時に苦手意識をもつ生徒への配慮が課題である。意識調査において8割近くの生徒が好きな活動と回答した「ゲーム」とチャットの要素とを組み合わせることも有効であると考えられる。例えば、教師との英語のやり取りを列対抗ゲームにすることなども考えられる。また、チャットでは、生徒の意欲が高まり、より会話が弾む「トピック」や状況設定を見つけることも必要である。そのため、各学校の教師一人一人の日々の実践を通じた指導のアイディアや教材の蓄積が必要であると考えられる。

V 本研究の成果と今後の課題

本研究では、研究主題を「実践的コミュニケーション能力の基礎を養う個に応じた指導の工夫」と設定し、2つの分科会に分かれ、第1分科会は、「読むこと」という理解力にかかわる指導について、第2分科会では、「話すこと」「書くこと」という表現力にかかわる指導について、個に応じた一層の充実のための実践研究を進めてきた。

第1分科会では、副主題を「読むことの力を伸ばすための個に応じた指導の充実」とし、実践研究を進めた。副主題に迫る手段として、仮説を「ワークシートを活用した段階的・継続的な読むことの指導を行うことにより、英語の文に対する抵抗感を軽減し、読むことの力や態度が養われる。」と設定した。指導の工夫として、英語が不得意な生徒にも得意な生徒にも対応できる「リーディング・パワーアップ・シート」を開発し、個に応じた段階的・継続的な「読むこと」の指導を行った。

第2分科会では、副主題を「豊かな表現力を伸ばすための個に応じた指導の充実」とし、実践研究を進めた。副主題に迫る手段として、仮説を「話すことの指導において、言語材料の定着を図った上で、トピックを設定した自由な会話を行うことにより、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と豊かな表現力が養われる。」と設定した。指導の工夫として、チャットを取り上げ、チャット・シートを活用しながら、個に応じて「話すこと」「書くこと」の指導を行った。

1 研究の成果

第1分科会の成果として、実態調査の実施により、生徒が英文を読むときにどのようなことにつまづいているかを把握することができた。つまづきを予防する手だてとして、「リーディング・パワーアップ・シート」を開発することによって、英語が不得意な生徒にも得意な生徒にも、個に応じた指導を行うことができた。また、継続して行うことによって、生徒の意欲も十分に高まった。

第2分科会の成果として、チャットの活動を取り入れ、チャット・シートを活用することによって、「話すこと」「書くこと」の力を十分に伸ばすことができた。また、チャットを効果的に行うためには、「聞くこと」の指導も重要であることから、その指導についても工夫した。チャットを行う初めの指導では、会話を続けさせる手法などを教える時間を十分に取る必要があるが、継続することによって、授業のウォームアップとして、また、言語材料の定着として、5分程度の短時間でできるようになった。

2 今後の課題

- (1) 20枚の「リーディング・パワーアップ・シート」を作成し、難易度は、第1学年後半～第2学年1学期の学習事項を目安とした。今後、内容を吟味し、一層段階的な指導が可能となるシートを作成する必要がある。また、読むことの力を構成する要素について考察し、それぞれの力を伸ばす段階的な指導について、さらに研究する必要がある。
- (2) 自分の考えを表現することが不得意という生徒もおり、チャットを効果的に行うには、生徒相互の人間関係やトピックにも工夫をする必要がある。また、段階的・継続的指導のために、個に応じた指導が大切である。個に応じた指導をどのように行い、また、時間をどのように確保していくかについて、さらに研究する必要がある。

平成17年度 教育研究員名簿（ 中学校外国語部会 ）

	区市町村名	学 校 名	氏 名
第 1 分 科 会	新 宿 区	牛 込 第 三 中 学 校	○ 豊 田 恵 子
	北 区	王 子 桜 中 学 校	中 嶋 昌 宏
	板 橋 区	板 橋 第 四 中 学 校	宮 川 桂 子
	練 馬 区	豊 玉 第 二 中 学 校	○ 保 倉 香 織
	江 戸 川 区	春 江 中 学 校	江 口 修 一
	神 津 島 村	神 津 中 学 校	金 子 敏 治
	三 宅 村	阿 古 中 学 校	平 内 夕
第 2 分 科 会	墨 田 区	鐘 淵 中 学 校	石 川 千 春
	世 田 谷 区	深 沢 中 学 校	○ 木 内 苗 津 子
	葛 飾 区	常 盤 中 学 校	兼 子 容 子
	八 王 子 市	宮 上 中 学 校	○ 大 宅 完 志
	青 梅 市	第 二 中 学 校	戸 田 礼 子
	小 平 市	小 平 第 四 中 学 校	西 田 三 美 子
	日 野 市	日 野 第 四 中 学 校	◎ 尾 形 雄 貴 仁

◎世話人 ○副世話人

担当 東京都教職員研修センター統括指導主事 福井 正仁
指導主事 田谷 至克

平成17年度教育研究員研究報告書

東京都教育委員会印刷物登録
平成17年度 第12号

平成18年1月16日

編集・発行 東京都教職員研修センター

所在地 東京都目黒区目黒一丁目1番14号

電話番号 03-5434-1974

印 刷 株式会社 今 関 印 刷